

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 本製品は玄関引戸専用の収納網戸です。本説明書で記載している以外の方法での取付けは行わないでください。故障・損傷などの不具合になるおそれがあります。
- レールの両面テープの接着力が低下し、網戸脱落の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・張直しをしないでください。
 - ・取付け前に取付け面を必ず清掃し、汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などを取ってください。
 - ・取付け面に強く押付け、必ず圧着してください。
 - ・接着効果を確保するため、24時間放置してください。
 - ・収納枠取付け後、収納枠を引き、袖・方立から外れないことを確認してください。
- 上枠キャップの収納枠側と、戸当り側を逆に取付けないでください。網戸が脱落するおそれがあります。
- 網戸の収納枠は、必ず引戸の収納枠側(袖・方立)に取付けてください。網戸が脱落するおそれがあります。

■組立て部品・ねじ一覧表

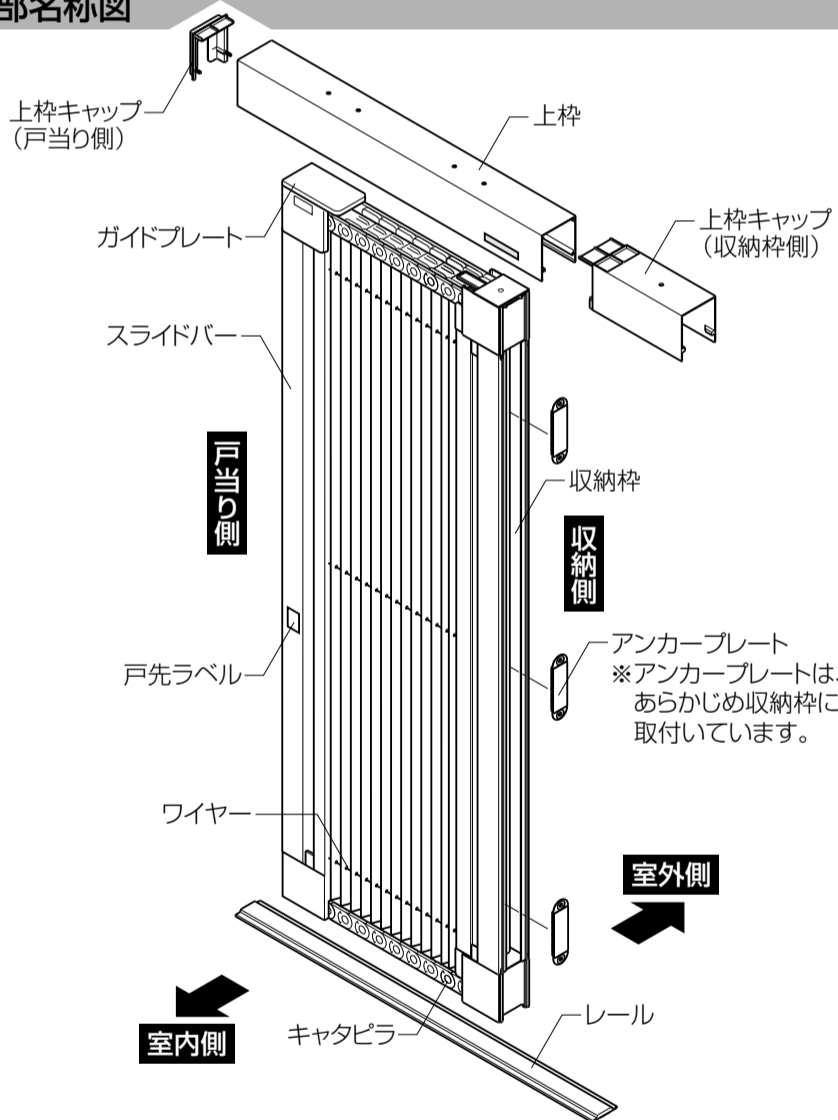
■袖付2枚引き用

部品セット			
上枠キャップ(収納枠側)	上枠キャップ(戸当り側)	レール下スペーサー	ナベタッピン ねじφ3.5×16
部品セット		下がり止めブラシセット	
パーリングテクス ねじφ4×10	下がり止めブラシ	ブラシストッパー	

■一本引き用

部品セット		
上枠キャップ(収納枠側)	上枠キャップ(戸当り側)	ナベタッピン ねじφ3.5×16
下がり止めブラシセット		
下がり止めブラシ	ブラシストッパー	

■各部名称図



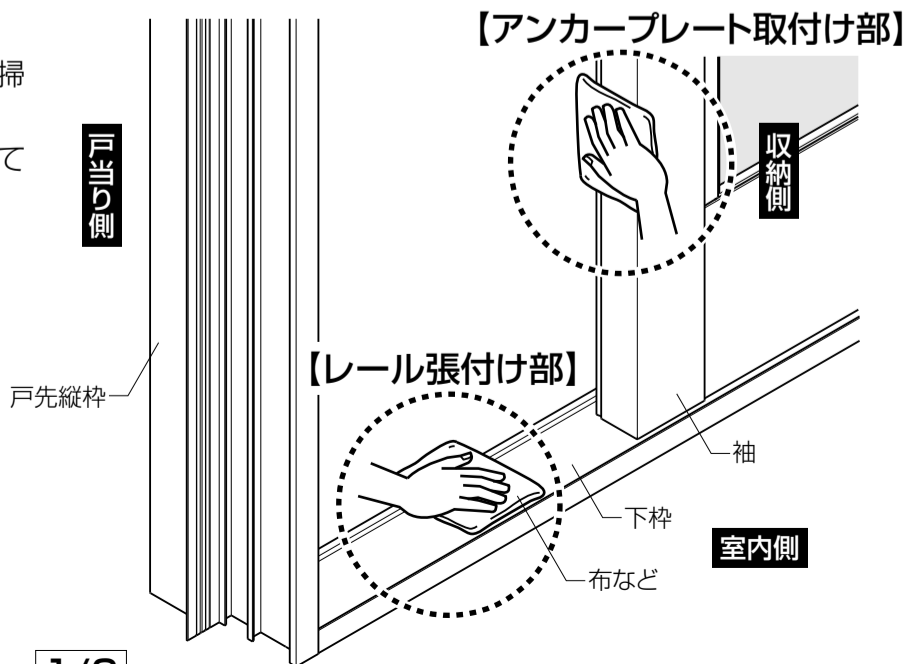
■取付け順序

1 取付け個所の清掃

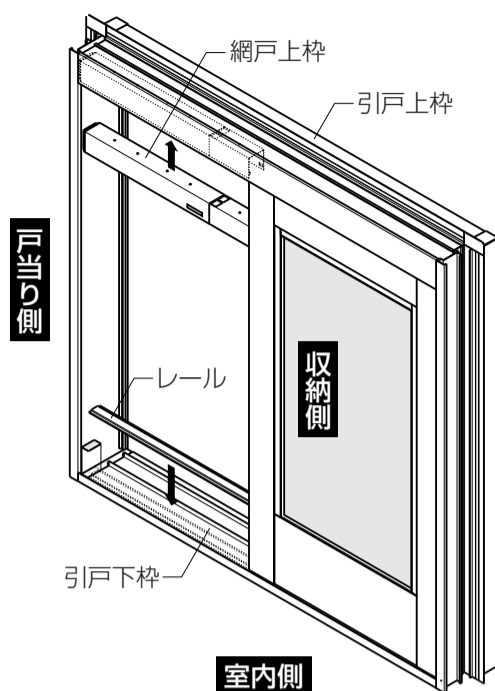
■取付け詳細

1 取付け個所の清掃

- ①網戸取付け面を、必ず布などで清掃してください。
- ②清掃した面にホコリ・油などが付いていないことを確認してください。



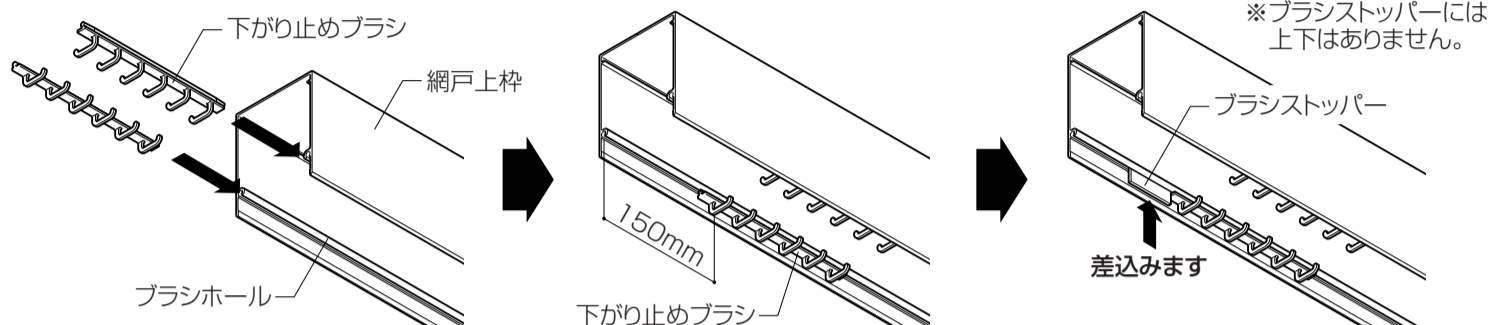
2 枠材の取付け



2 枠材の取付け

1) 下がり止めブラシの取付け

- ①下がり止めブラシを網戸上枠のブラシホールに挿入してください。
※両側のブラシホールに同数挿入します。
- ②下がり止めブラシは、網戸上枠のほぼ中央にくるようにしてください。両端の下がり止めブラシがないところの寸法が150mm以下の場合、下がり止めブラシを1つ外してください。
- ③ブラシストッパーのリケイ紙をはがしてください。
- ④ブラシホールにブラシストッパーを差込み、網戸上枠内側に張付けて下がり止めブラシを固定してください。

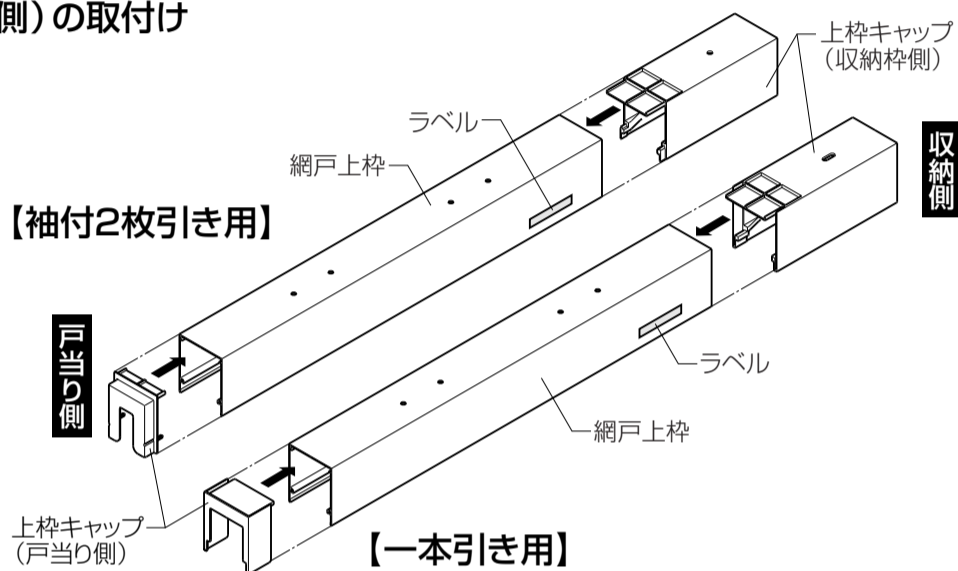


2) 上枠キャップ (収納枠側・戸当り側) の取付け

- 上枠キャップ (収納枠側) を網戸上枠の収納枠側に、上枠キャップ (戸当り側) を網戸上枠の戸当り側に差込んでください。

▲注意

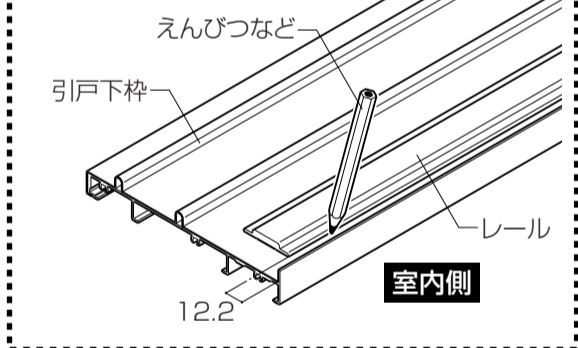
- 上枠キャップの収納枠側と戸当り側を逆に取付けると、網戸が脱落するおそれがありますので、逆に取付けないでください。



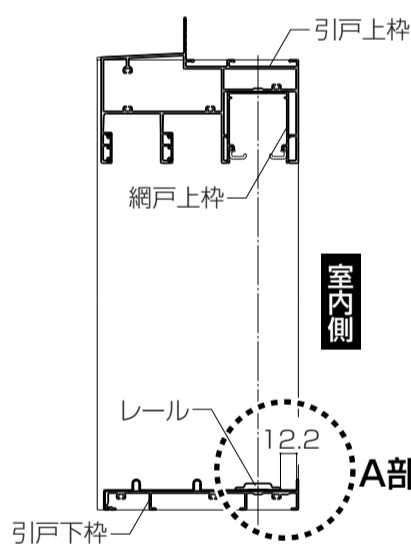
3) 網戸上枠・レールの取付け

- ①仮止めした網戸上枠を基準にして、レールの取付け位置に印を付けます。

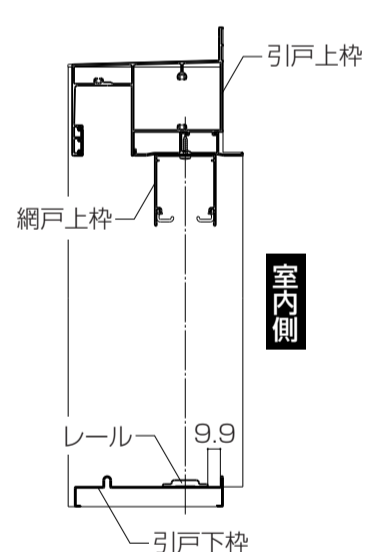
■A部詳細図



【袖付2枚引き用】



【一本引き用】



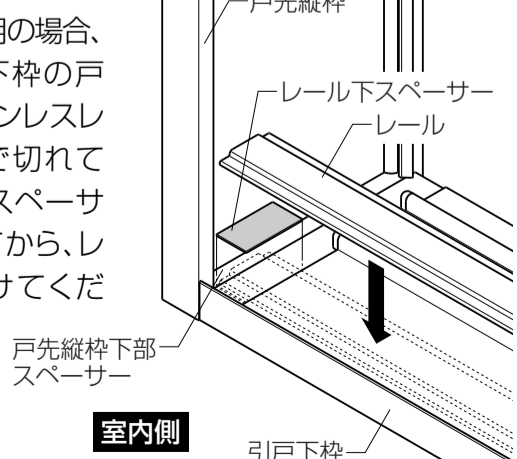
- ②レールの両面テープのリケイ紙をはがし、基準線に合わせて、レール取付け面に強く押付けて圧着してください。

▲注意

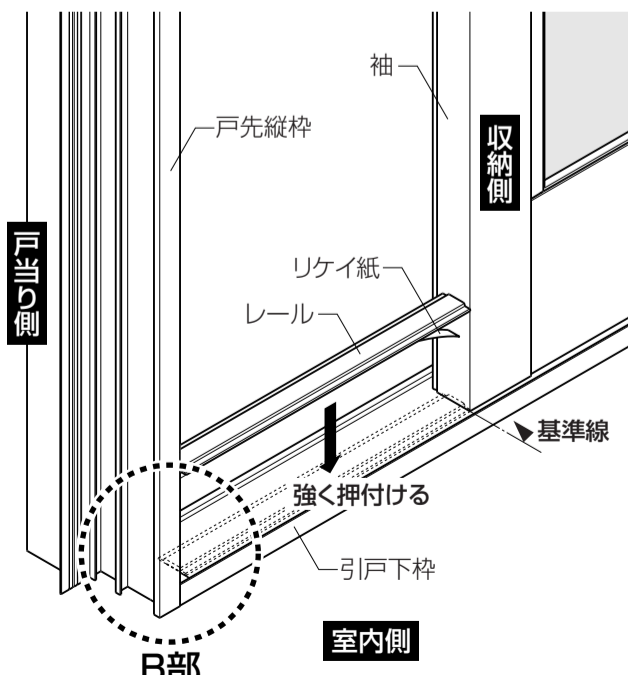
- 張直しをすると接着力が低下しますので、位置を決めて取付けてください。

■B部詳細図

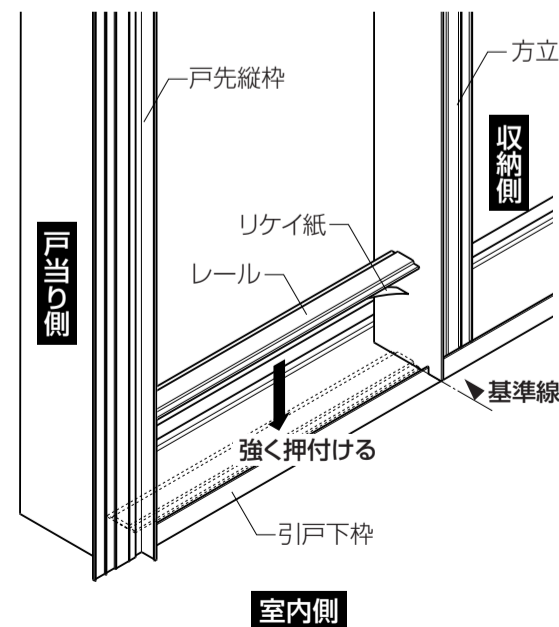
- ※袖付2枚引き用の場合、取付け枠の下枠の戸当り部のステンスレールが途中で切れていますので、スペーサーを張付けてから、レールを張付けてください。



【袖付2枚引き用】

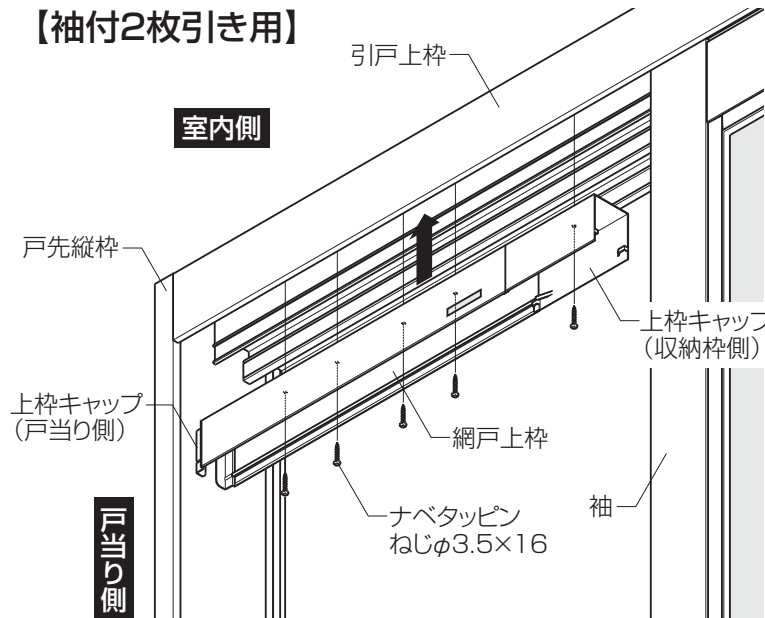


【一本引き用】

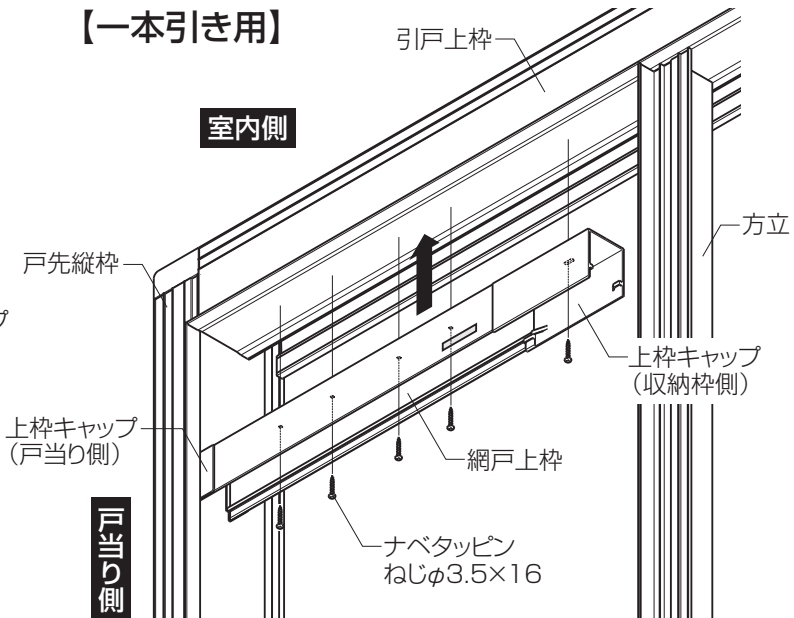


③ 網戸上枠を収納側に、すき間がないように位置決めし、φ3の下穴をあけてナベタッピンねじφ3.5×16で固定してください。

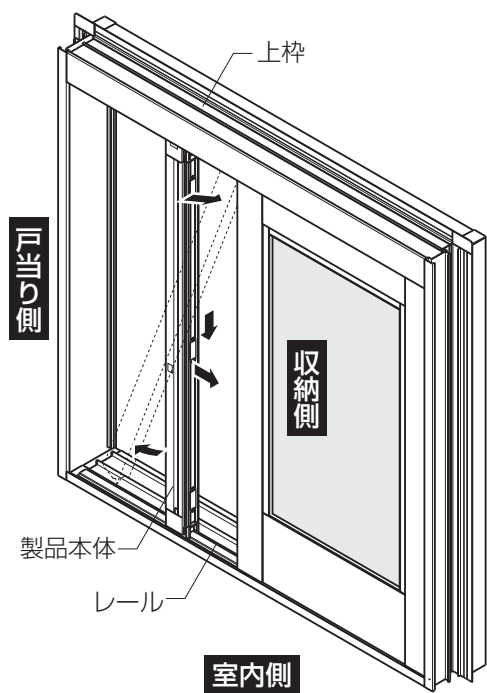
【袖付2枚引き用】



【一本引き用】



③ 本体の取付け



▲注意

● 網戸の収納枠は、必ず引戸の収納枠側（袖・方立）に取付けてください。

③ 本体の取付け

※ 図は、袖付2枚引き用で説明しています。一本引き用も取付け要領は同じになります。

① 製品本体の上下を確認してください。「上側」シールを上にしてください。

お願い
 ※ 上下を逆に取付けると、作動不良になります。
 ※ 取付けが完了するまで、製品を開閉させないでください。キャタピラが外れるおそれがあります。

② 収納枠裏側に付いている、アンカープレートのリケイ紙をはがしてください。

③ 製品本体を斜めにして、上枠とレールの間に入れてください。製品本体は上枠キャップ（収納枠側）より入れてください。

④ 製品本体がレールから浮かないように、レール側に押付けながら、収納側の取付け面（袖・方立）に押付けてください。

⑤ 網戸本体の収納枠に両手を掛け、戸当り方向に引っ張ると取付け面に付いたアンカープレートから製品が外れます。このとき、網戸本体をレールより浮かせるように持ち上げ、左右どちらかの方向へひねると容易に取外すことができます。

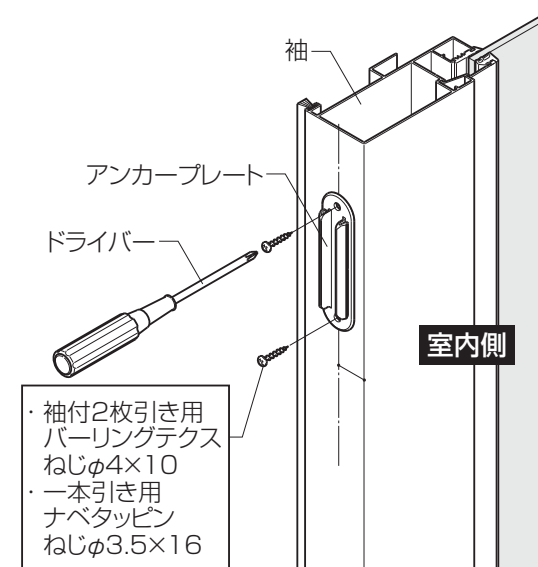
⑥ 収納枠に付いていたアンカープレートは、両面テープで仮止めされますので、バーリングテクスねじφ4×10で固定してください。

※ 一本引き用は、φ3の下穴をあけて、ナベタッピンねじφ3.5×16で固定してください。

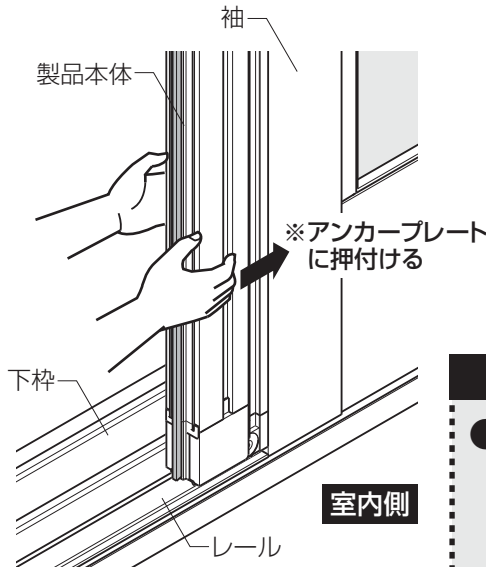
お願い
 ※ ねじは必ず手で止めてください。強く締めすぎたり電気ドライバーを使用しますと、取付け穴が大きくなり、固定できなくなるおそれがあります。

⑦ 製品本体の取付け時と同じ要領で、製品が浮かないように収納枠をアンカープレートの突起に合わせ、押付けるとはまって固定されます。

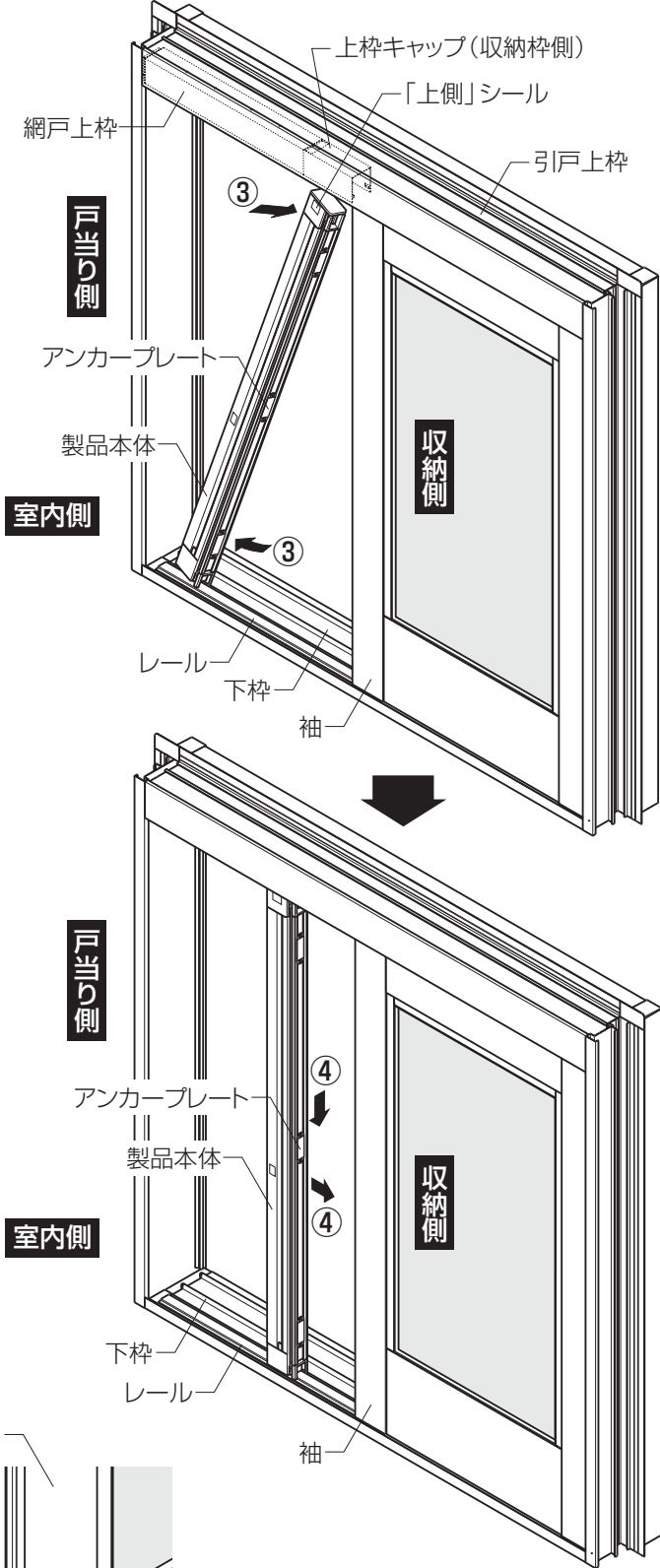
■アンカープレートの固定



・ 袖付2枚引き用
 バーリングテクス
 ねじφ4×10
 ・ 一本引き用
 ナベタッピン
 ねじφ3.5×16



【袖付2枚引き用】



室内側

室内側

室内側

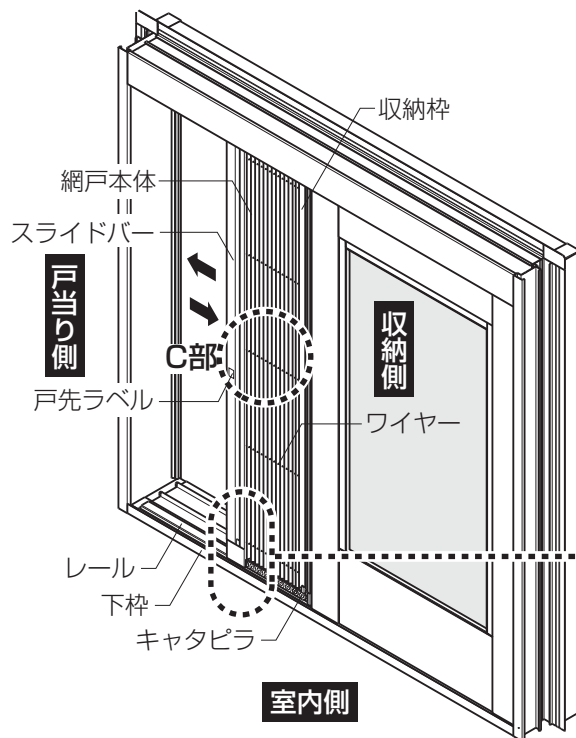
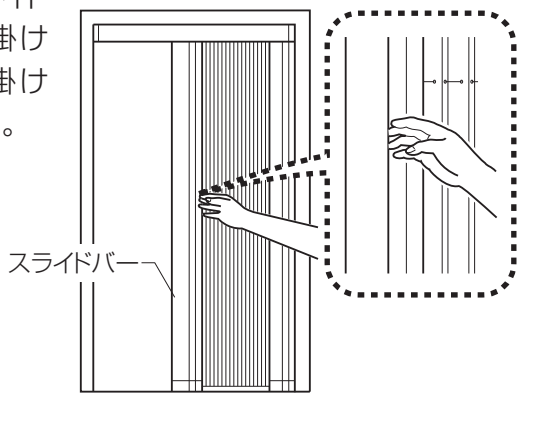
▲注意

● 取付け後、収納枠を引き、袖・方立から外れないことを確認してください。

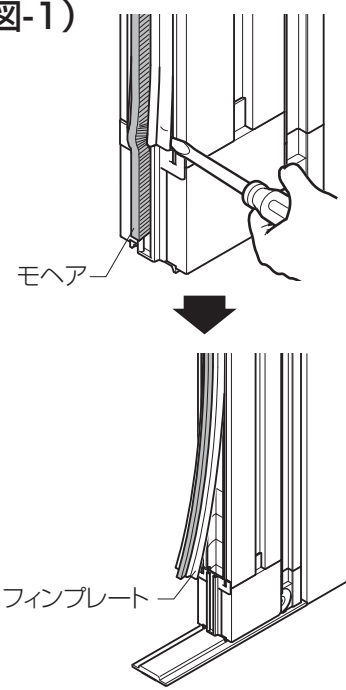
■作動確認

- ①スライドバーの手掛けに手を掛け、作動を確認してください。異常(大きなガタツキ・蛇行・外れなど)がある場合は、説明書の各手順を確認し、修正してください。

- 開閉はスライドバーの手掛け部に手を掛けて行います。



(図-1)



■製品取付け後、スライドバーと戸当り側取付け面間にすき間ができる場合

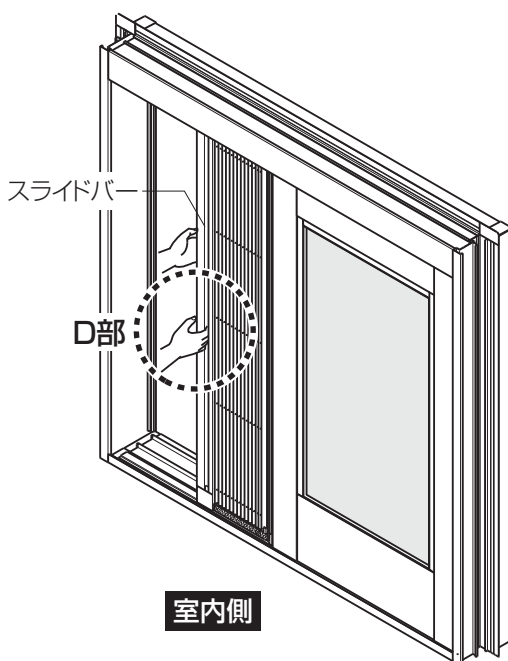
【スライドバーの建付け調整】

- ①スライドバーの建付け調整ねじは、スライドバーの内側にあります。スライドバーに付いているフィンプレートを外してから調整します。
- ②スライドバー戸先面に付いているフィンプレート下部のモヘア溝の中に、マイナスドライバーの先端を斜めから差込み、持上げるとフィンプレートがスライドバーから外れます。外れた部分を持って下から引きはがすようにして上まで全部外します。(図-1)
- ③白キャタピラの調整ねじをゆるめます。
※赤キャタピラは調整しないでください。故障の原因となります。
※黄キャタピラは、ワイヤーの張り具合調整部品です。(黄キャタピラは機種により、ない場合もあります。)
- ④スライドバーの傾きを調整します。
- ⑤白キャタピラの調整ねじを締付け固定します。

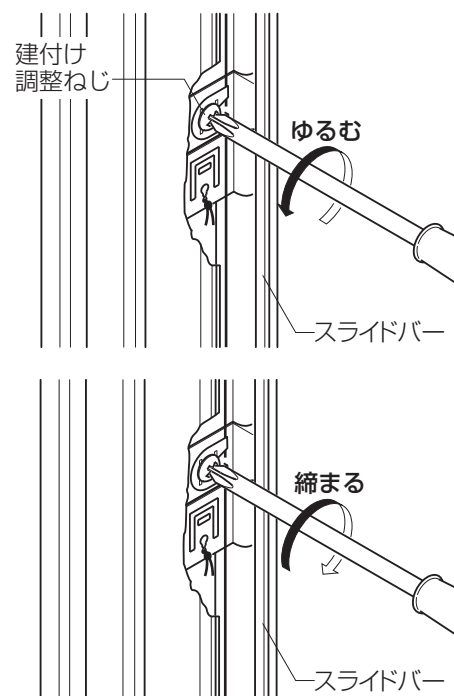
お願い

※ねじは必ず手で締めてください。強く締めすぎたり、電気ドライバーを使用しますとねじが破損する場合があります。

※調整後は、次項の「■ワイヤーのたるみの確認・調整」を実施してください。



■D部詳細図



■操作性が悪くなった場合

<スライドバーが収納側に戻る>

- スライドバーの中にある黄キャタピラ部品でワイヤーの張りが強くなるように調整します。上にある黄キャタピラのねじをゆるめて下へ移動させて固定し、下にある黄キャタピラのねじをゆるめて上へ移動させて固定します。ワイヤーの張り具合は下記の【ワイヤーのたるみの確認・調整】で点検してください。
※ワイヤーを強く張ると開閉力は重たくなります。

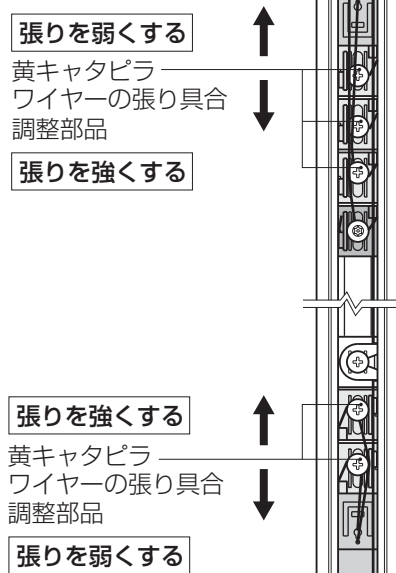
<開閉が重い>

- スライドバーの中にある黄キャタピラ部品でワイヤーの張りを弱く(ゆるく)なるように調整します。上にある黄キャタピラのねじをゆるめて上へ移動させて固定し、下にある黄キャタピラのねじをゆるめて下へ移動させて固定します。ワイヤーの張り具合は下記の【ワイヤーのたるみの確認・調整】で点検してください。

【ワイヤーのたるみの確認・調整】

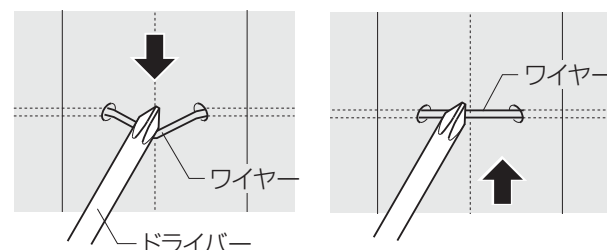
- ①スライドバーをいったん戸当り側に動かしてから、4cmぐらい収納枠側に戻します。
- ②ワイヤーにボールペンやドライバーの先端を軽くのせ、たるみを確認します。すべてのワイヤーについて右図(■C部詳細図)のように確認し、すべてのワイヤーが同じ張り具合になるまで調整を行います。
※ワイヤーを張りすぎると作動不良になり上下のキャタピラが外れる場合があります。外れた場合は、はめ直してください。複数箇所外れた場合は、キャタピラのピンを同じ向きにしてはめ直してください。
- ③調整は機種により調整箇所が異なります。
※収納枠側に調整ねじがある場合は、調整ねじを上下に動かします。シルバー色のねじは上方向、茶色のねじは下方向へ調整するとゆるみます。(B図)
※収納枠側に調整ねじがない場合は、スライドバー内側の黄キャタピラを上下に動かします。(A図)

(A図)



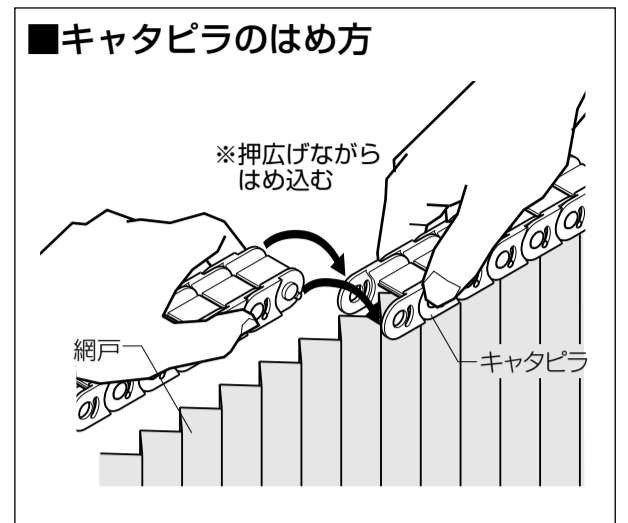
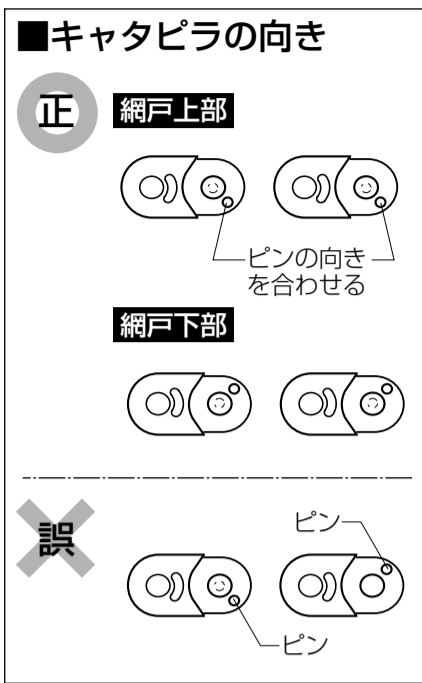
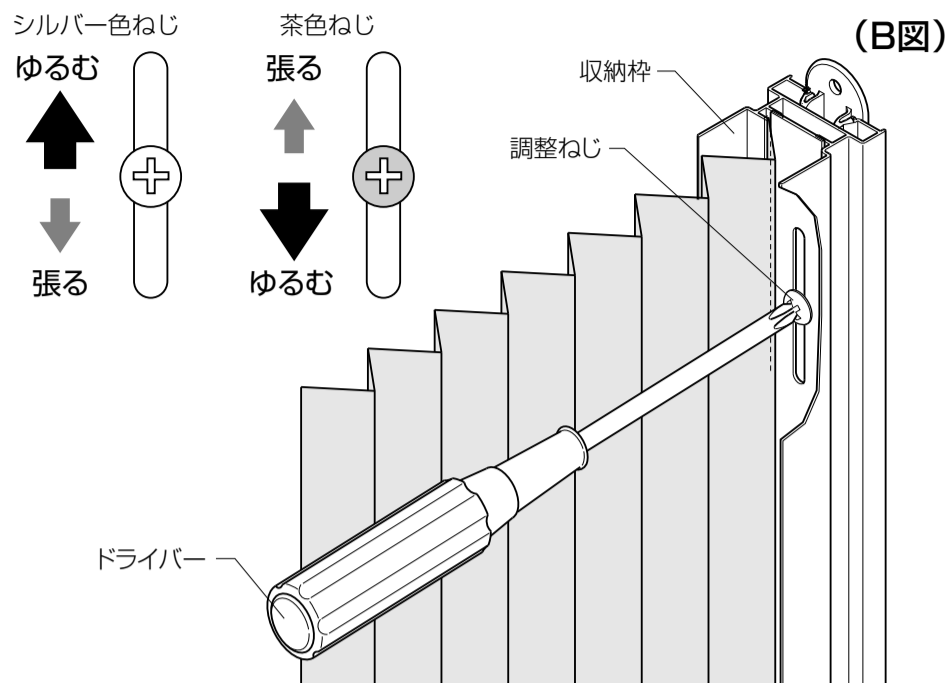
■ワイヤーの確認方法(C部詳細図)

- ①ドライバーをワイヤーに軽くのせます。
※ワイヤーがたるまない場合は張りすぎです。
- ②ドライバーをワイヤーから離します。
- ③ワイヤーが元に戻ります。



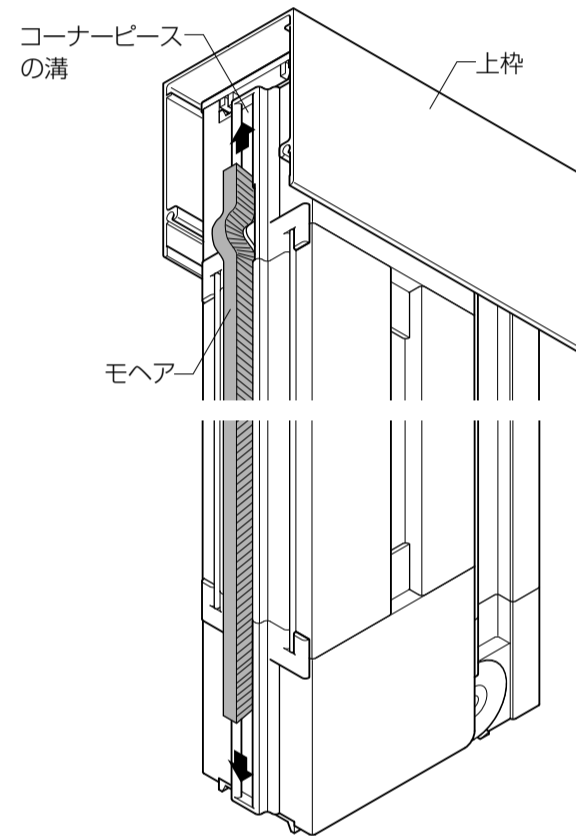
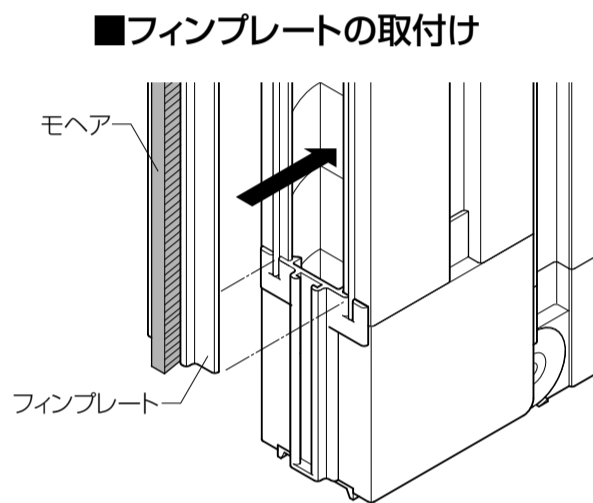
お願い

※本製品は「ガラガラ」と音がしますが、故障ではありません。
※油などの潤滑剤は使用しないでください。ホコリなどが付着し、故障の原因となります。
※ワイヤーは1本ずつ調整してください。
※すべてのワイヤーが同じ張り具合になるように調整してください。



■すべての確認が完了したらフィンプレートを取付けてください。

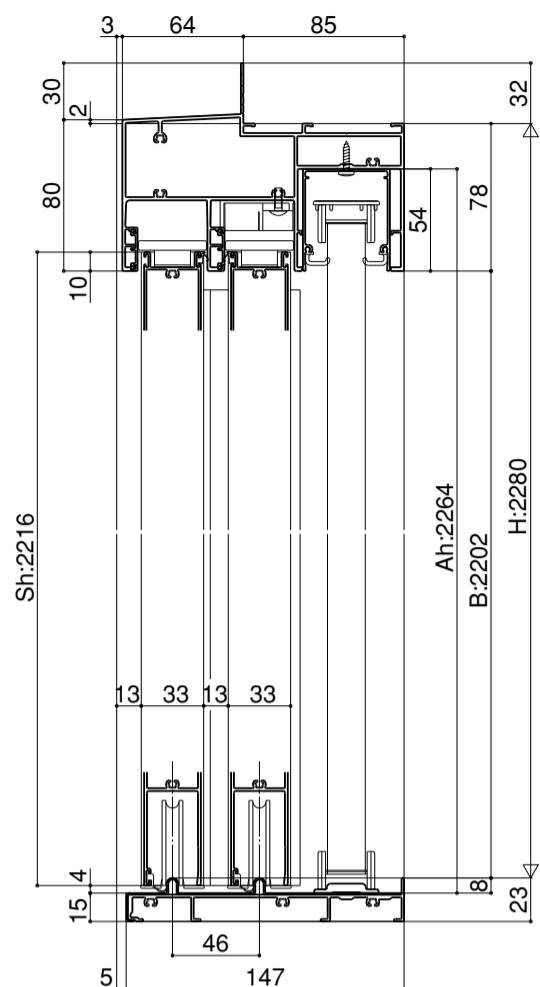
- ①フィンプレートとモヘアの先端を合わせ、スライドバー下部の溝に合わせて、押付け取付けます。
- ②モヘアをスライドさせコーナーピースの溝に差込みます。
- ③下から順にフィンプレートをスライドバーに押付け取付けます。
- ④上部にあまったモヘアは曲げて、コーナーピースの溝に差込みます。



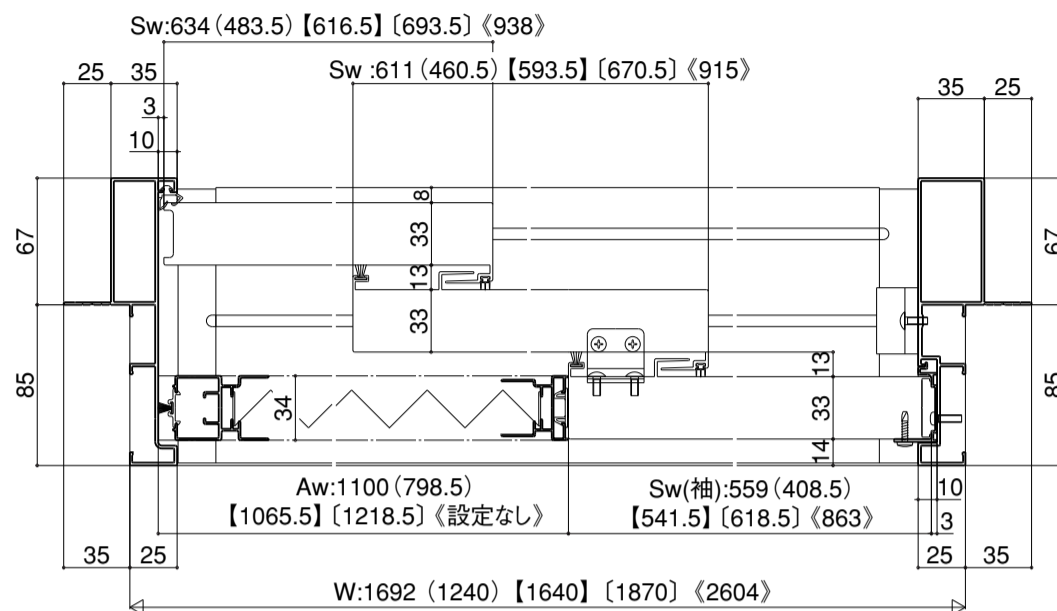
参考基本図

【袖付2枚引き用】

縦断面図



横断面図

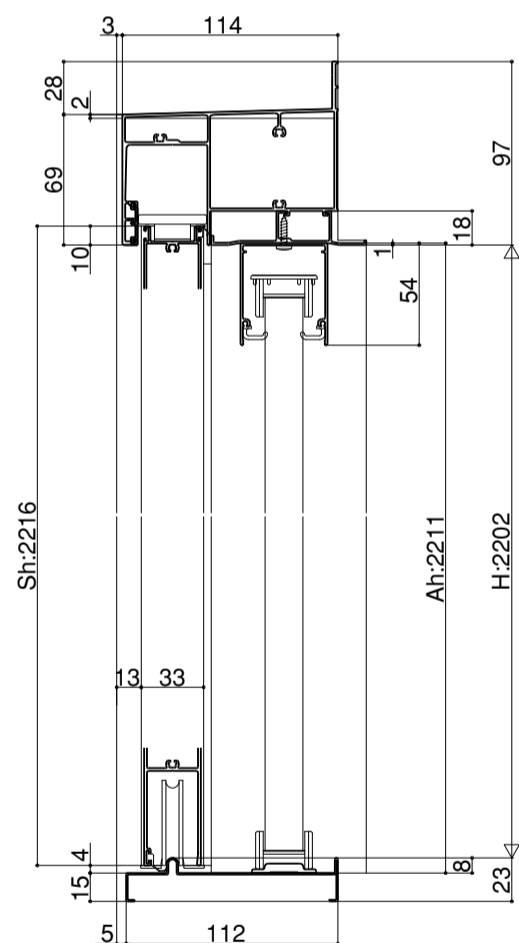


注意事項

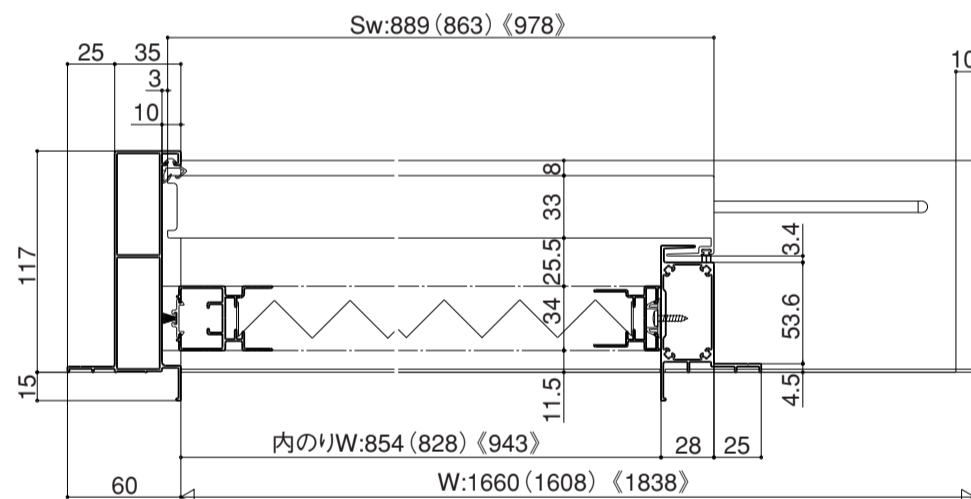
1.本図は外観右障子用を示す。外観左障子用は本図と対称。

【一本引き用】

縦断面図



横断面図



注意事項

1.本図は外観右障子用を示す。外観左障子用は本図と対称。